

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

|      |                 |     |       |           |   |
|------|-----------------|-----|-------|-----------|---|
| 法人名  | 鈴木ヘルスケアサービス (株) | 代表者 | 鈴木 則成 | 法人・事業所の特徴 | ご利用者の地縁を守り、慣れ親しんだ地域・居場所で生活を続けられるようお手伝いします。ご本人の思いや願いに寄り添い、24時間365日「その人らしい暮らし」を支え、「通い」「訪問」「お泊まり」の3つの基本サービスを組み合わせご利用いただけます。また、どのサービスにおいても、顔馴染みのスタッフがサービスをご提供するため、知らないスタッフが急に自宅に来たなどという不安もなく、安心してご利用いただけます。 |
| 事業所名 | 小規模多機能ホーム 鈴の郷   | 管理者 | 常 奈緒美 |           |   |

| 出席者 | 市町村職員 | 知見を有するもの | 地域住民・地域団体 | 利用者 | 利用者家族 | 地域包括支援センター | 近隣事業所 | 事業所職員 | その他 | 合計  |
|-----|-------|----------|-----------|-----|-------|------------|-------|-------|-----|-----|
|     | 0人    | 0人       | 2人        | 5人  | 0人    | 1人         | 0人    | 9人    | 0人  | 17人 |

| 項目                      | 前回の改善計画   | 前回の改善計画に対する取組み・結果   | 意見   | 今回の改善計画   |
|-------------------------|---|---|--|---|
| A. 事業所自己評価の確認           | 記録方法において見直しを行なっていく。<br>報告・連絡・相談をより密にし、職員全体の情報共有のあり方を検討する。       | 朝のミーティングやケース会議、定期的な会議等で密に情報交換・共有が行えるようになり、サービス担当者会議や新規の情報等必ず共有している。また情報共有の為に用紙の綴り方を変えたことで見やすくなった。 | 特にありませんでした。  | 管理日誌の役割分担の明確化を図るよう、互いに声かけを行う（フロア担当中心に）ダブルチェック、朝のミーティングで声出し確認を行ない、変化のある複数訪問の関わり方に各自が責任を持って行なう。 |
| B. 事業所のしつらえ・環境          | 昨年に引き続きPRの強化に勤しむ。   |   | 前回の改善計画の内容はCではないか？   | 入浴等、重度の方に対しても安全に入ってもらえるよう今回リフト導入の検討→実施。光熱費削減の為に南側の窓ガラスのレースカーテン設置を検討する。                        |
| C. 事業所と地域のかかわり          | 地域包括センターが定期的開催されている「よりあい処ぴーちくばーちく」へ、スタッフ又は利用者さんと一緒に顔を出せるよう検討する。 | 参加出来るようになった。  | 特にありませんでした。  | 地域のサロンへの参加。   |
| D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み | 訪問先での防災を重視し、少なくとも訪問先での避難場所について、各自治会や家人さんと連携していく。                | 出来ていない。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>まず地域が避難訓練できていない。避難先の環境が避難に適していない。</li> <li>鳥居本の防災計画がそもそもいい加減。</li> <li>鈴の郷に備蓄を準備しておくといい。</li> <li>社協が一度、鳥居本や鈴の郷に</li> </ul> | 引き続き、各利用者様の地域との関わりを支援していく。緊急時への対応の強化を行っていく。地域事業に参加していく方向。                                     |

|                    |   |  |  |   |
|--------------------|---|--|--|---|
|                    |   |  | <p>視察に来るべき。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本当に災害に直面したら高齢者さんはどうなっていく？実際に災害があった地域では沢山の高齢者さんが亡くなったと聞いている。実際に災害があった地域から学ぶべき。</li> <li>・利用者さんの避難先は鳥居本か？地域なのか？決めておくべき。</li> </ul> |   |
| E. 運営推進会議を活かした取り組み | <p>地域のお巡りさんや消防団、JAの職員さんなど、地域に根付かれている職員さんも運営推進会議に参加いただくことで、事業所との交流を通じ、鈴の郷を知っていただく。</p> | <p>年間開催のアンケートを行い、参加していただけるよう取り組んできた。</p> | <p>特にありませんでした。</p>   | <p>家族の参加率を上げるよう参加していただける内容を検討していく。</p>            |
| F. 事業所の防災・災害対策     | <p>防災面において地域での繋がりを作り、近隣や民生委員等の交流を図るところから始める。</p>                                      | <p>定期的な実施、また研修も行った。</p>                  | <p>特にありませんでした。</p>   | <p>備蓄を準備、防災グッズ等災害に対する消防団の方から取組や地域での関わり方等声を聞く。</p> |